

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

渋谷建設株式会社

山形市にある渋谷建設株式会社の冨塚智弘さん取材しました！

冨塚さんは山形市出身で、2019年に入社しました。

現在は工務部で施工管理業務を行っています。



(1) 仕事内容編

——現在の仕事内容を教えてください。

道路や河川などの公共インフラを作っていくための現場監督をしています。県や国などの発注者から図面をいただいて、こういうふうになろうとか、材料はこれを使おうといった計画を立てて、それを管理しています。より良いものをつくるための仕事です。

——冨塚さんが現在担当しているのはどこですか。

今は道路を担当しています。これまでに関わった代表的なところとしては、去年新しく開通した南陽の方の赤湯バイパスを担当していました。

——現場管理は1人で行われるんですか。

1人のこともあれば、大きい現場だと2人でやることもあります。



——若いうちから一人で仕事を任せることを推進しているのですか。

（総務の笹間さん）というよりは、そういう仕事だからです。当社は元請をしていて、実際に作業するのは協力会社さんです。安全管理、工程管理、原価管理など現場全体をコントロールしていくのが我々元請の仕事です。協力会社の方々が働きやすい現場環境づくりや、作業員さんの体調面に気を配ることも大切です。

当社は50人くらいの技術者がいて、彼らがそれぞれ現場に配置されていきます。さすがに新入社員のうちから現場のトップに立つということはないのですが、2～3年目くらいからは一人で行うようになります。

——初めて自分が現場監督になったときの気持ちはどうでしたか。

不安でした（笑）。先輩と一緒に行って、仕事をある程度振ってもらって、教えてもらいながらやっていました。

——不安だった部分はどのように解消していききましたか。

誰にでも聞ける環境があったので、そこで「なんとかなるか」という気持ちになりました。自分は知識が少ないのですが、専門の業者さんは何でも知っているので、現場を通して「こういう時はこうすれば良いんだな」ということがわかってきました。

——信頼されるために心掛けていることはありますか。

仕事と休憩時間のメリハリをつけることだったり、仕事以外のコミュニケーションを取ったりしています。仕事をやっているときは機械も動いていて危険もあるので、メリハリをしっかりつけていますね。

——現場管理は自然を相手にしているところもあると思いますが、大変なことはありますか。

夏だと暑い、冬は寒いなどがあります。スケジュールどおりにいかなくて大変だということも多いです。ですが、協力会社さんが頑張ってくれますね。それに、迷ったら相談できる上司がいるので、アドバイスをもらいながらやっています。



——暑い寒いに関して会社で何か対策はされているんですか。

暑いときは扇風機がついている空調服や、タブレットなどの熱中症対策サプリが支給されます。現場事務所には冷暖房がついていて快適に過ごせます。冬は防寒着が支給されます。

——仕事をしていてやりがいを感じるのはどのような時ですか。

現場が完成した時です。何もないところから道路ができて、施工する前と後の写真を見たときには達成感があります。

——入社して良かったことがあれば教えてください。

仕事はそれなりに忙しいのですが、自分のペースでできるというところです。自分で計画を立てて、自分がやりやすいように進められます。会社の中に一日中いてパソコンするとかでもないの、息抜きもできる場所ですかね（笑）。



(2) 職場編



——入社を決めたきっかけは何ですか？

もともと関東の大学に通っていたんですが、関東と山形で就職活動をしていました。土木系の学部で学んでいたので、山形で一番大きい建設会社が渋谷建設だったこともあり、内定が出るのも早かったので、渋谷建設に決めました。

——渋谷建設を知ったのは、どうしてですか。

山形出身の同じ大学の先輩が建設会社に内定をもらっていて、そこで知りました。

それに、社名が入っている車があるんですが、山形にいとよく見かけるなということで知りました。

——貴社の福利厚生で、特徴的なものはありますか。

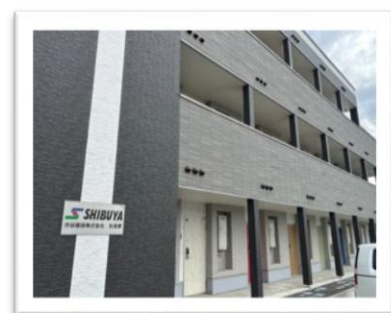
待遇や福利厚生は良いと思います。具体的には、社用車が使えたり、入社1年目は1人部屋の寮に月1万円で住めるところだったりです。結構助かっています。

(総務の笹間さん)：寮は、家賃、光熱費、食費、Wi-Fi、BS など全部込みで1万円です。昼と夜の2食付いています。

———すごく良いですね！山形市ご出身ですよ。実家でなくてもよかったですか。

寮には同期がみんな入っているので、平日の夜に飲みに行ったりして楽しかったですね。

（総務の笹間さん）寮のそもそもの目的として緊急災害時の拠点としての意味合いもあり、慣習として、技術職として入社した方は、1年間は寮に入ることになっています。もちろん居たい方は2年目、3年目でも入れます。現在の寮は2020年新築で、完全個室のため女性技術者も入寮可能です。



———お休みは取りやすいですか。

現場の状況次第ですが、自分で決められます。忙しい時は難しいですが、現場が半年から1年くらいかけて行われていてその現場が終わったときにまとめて休みを取ることができます。昨年、現場が終わって1週間の有給休暇をとったときは、沖縄に旅行しました。

（総務の笹間さん）当社も5、6年前に比べると働き方改革で休みは取りやすくなっています。年間休日だと以前に比べて1か月分くらい増えています。土日は休みですし、お盆休み、ゴールデンウィーク、お正月休みなどで長く取れるようになりました。ですが、自然を相手にする仕事ですから現場監督の判断で土曜日も稼働することがあります。現場では、彼（冨塚さん）がトップなので、彼が決める感じです。



——富塚さんは1級土木施工管理技士の資格を取得されたとのことですが、この資格は必ず取得しなければならないのでしょうか。

(総務の笹間さん) 資格がなくても仕事ができなくはないのですが、一定規模以上の現場に配置が必要な「監理技術者」という役割を担うには、1級土木施工管理技士の資格をもっていなければなりません。1級土木施工管理技士は、富塚さんのような技術職の仕事をするうえでは必須です。

——資格を取るために会社でサポートしていることはありますか。

外部の勉強会に参加させてもらっています。試験なので、テクニク的なものも必要になるので、専門の講師から教えてもらいます。

(総務の笹間さん) 会社としては、合格したらお祝い金や資格手当を支給しているので、モチベーションを上げてもらいたいですね。

——ホームページをみて、安全や健康管理に力を入れていると感じましたが、どのようなことをしていますか。

（総務の笹間さん）安全管理に関しては、建設業であれば当然のことです。現場に応じた安全対策があるのでケースバイケースで行っています。

健康管理に関しては、健康診断とインフルエンザの予防接種などは、会社負担で社員に受けてもらっています。健康器具も社内にあるので自由に使えるようになっています。それに、最近では当たり前になっていますが、敷地内全面禁煙です。



(3) ある日の過ごし方編

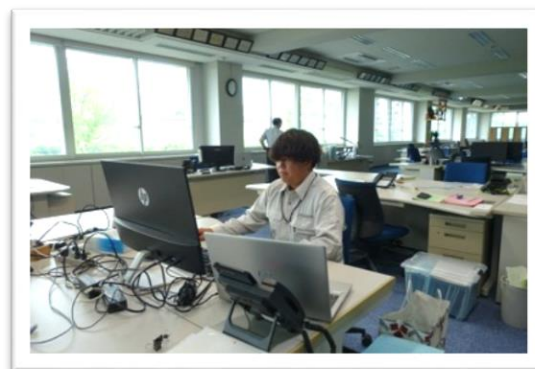
●7:30 【現場到着】

基本的に自宅から現場に直行します。7:30 頃までに現場に着いて、協力会社さんと打ち合わせをします。

月曜と金曜は工務部のミーティングがあるので、朝は会社に来ます。自分の現場の進捗状況を社内で報告したり、作業内容や材料の確認をしたりします。

●8:30 【業務開始】

現場がスタートしてからは、写真を撮ったり指示をして測量をしたりします。10時にいったん休憩します。休憩後はお昼までまた作業をします。



●12:00 【お昼休憩】

●13:00 【午後の業務開始】

午前の続きをします。現場にいるときもあれば、現場事務所で書類を作成していることもあります。15時に休憩があります。



●16:00 【現場事務所で作業】

16時過ぎには協力会社さんの作業が終わるので、17時前までに現場事務所に戻って、次の日の準備や書類整理をします。

●17:30 【退勤】

会社には戻らず、自宅に帰ります。

(4) むらやまでの暮らし編

——どうして関東から山形に戻ってこようと思いましたか。

遊ぶのは関東のほうが楽しいですが、住むなら山形かな、というのがありました。

——住むのによかったという具体的な決め手は何かありましたか。

人がそんなにいないということですかね（笑）。人混みもあまりないので良いですね。それに、何をするにも駅まで歩いて電車に乗って行く感じが苦手で、山形だと車で行けるので楽ですよ。

——冨塚さんは U ターンをしてきましたが、U ターンや県外出身者を呼び込むにあたって山形の良いところをアピールするとしたらどこですか。

住んでいて楽だなと思うところです。車移動なので電車の時間に追われないところとか、人柄がいいと思います。例えば、クラクションがならないところですね（笑）。生活するぶんには山形市が一番いいと思います。山形で飲んでいると誰かと会うのも良いです。



(5) まとめ編



———今後の目標を教えてください。

目標は、現場をたくさん経験して、大きい現場も一人でできるくらいになることです。特に河川の現場をあまりやったことがないので、どんな分野でもできるようになりたいです。

———これから就職活動をする学生にメッセージをお願いします。

就活していて自分が好きなことを仕事にするのは難しいと思うので、いろいろ企業を見ているのが一番かなと思います。私も、自分の好きなことを仕事にできたという感じはありませんが（笑）、やってみると楽しいなと思います。

1年目、2年目は言われたことをこなして「こんなものか」なんて思っていたんですが、実際1人で現場監督をやってみると大変でした。ですが、1人でやるからこそ自由で、仕事はかなりしやすいと思います。

——この仕事に向いているのはどういった人だと思いますか。

自分の世界がある人ですね。几帳面な人だと仕事が終わらなくなるような気がします(笑)。突き詰めていくときりがないので。とことん良いものを作るために細かいところまでこだわって時間に遅れる人よりは、一定の品質までやって時間どおりに終わらせることができるタイプが向いていると思います。

(総務の笹間さん) 技術職に入るのは、彼のような土木系の学部出身や高校の土木科出身の方が多いです。なかには違う分野からきて、技術職を行っている方もいます。土木科でなければ絶対にできない仕事ではなく、入社してから頑張っ覚えて身に付ける方もいます。

——ありがとうございました！

土木業は大変な仕事のイメージがありましたが、社員一人ひとりの力や技術が重要で、道路や河川など私たちの日常に根付いた仕事であることを知りました。同僚や上司だけでなく協力会社さんとも良好な関係を築き、協力して質問し合える職場環境だからこそ、質の高い業務をやり遂げられる企業だと感じました。職場環境が良いところも仕事をするうえで魅力的で、社員が成長しやすい環境であると感じました。



【インタビュアー： 人文社会科学部
鈴木愛唯 井上凜 池田伊吹】

渋谷建設株式会社

- ①デジタルの力で土木施工を効率化、ICT施工の県内リーディングカンパニー。
3Dスキャナ、ドローン、GNSSをはじめ様々な機材を使用し、ICT施工を積極的に推進しています。
- ②社員に対するバックアップが充実。
資格取得支援、スキルアップ講習、様々な福利厚生など社員をバックアップします。

★東北地方整備局長表彰、山形知事顕彰など各種優良工事表彰
健康経営優良法人2024、やまがたスマイル企業制度ダイヤモンドスマイル企業認定など

- ・所在地 山形県山形市東青田五丁目1番5号
- ・設立 明治43年4月
- ・従業員数 121名（男性104名、女性17名）
- ・事業内容 公共土木工事の施工管理を通じた山形県の社会基盤づくり
- ・URL <https://www.shibuken.co.jp/>
- ・インスタグラム <https://www.instagram.com/shibuyakensetsu.yamagata/>

